

令和 8 年度障害者総合福祉推進事業
「地域生活支援拠点等における機能の評価指標及び
拠点コーディネーターの養成に係る調査研究」
におけるモデル研修 募集要項

この度、P w C コンサルティング合同会社では、令和 8 年度障害者総合福祉推進事業「地域生活支援拠点等における機能の評価指標及び拠点コーディネーターの養成に係る調査研究」の一環として、地域生活支援拠点等に関わる人材を対象としたモデル研修を実施することとなりました。受講を希望される場合には、下記のとおりお申込みいただきますよう、お願いいたします。

なお、受講者数に制限がございますので、お申し込み多数の場合、参加者を調整させていただく可能性がございます。

記

1. 研修名称

令和 8 年度障害者総合福祉推進事業「地域生活支援拠点等における機能の評価指標及び拠点コーディネーターの養成に係る調査研究」に係るモデル研修

2. 研修目的

地域生活支援拠点等における拠点コーディネーターの養成、および各地域の地域生活支援拠点等の整備・充実や拠点コーディネーターの配置促進に向けた検討機会の創出

3. 実施主体

P w C コンサルティング合同会社 公共事業部

4. 受講対象者

地域生活支援拠点等に関わる人材

(拠点コーディネーター、基幹相談支援センター職員、相談支援専門員、自治体職員 等)

※自治体の皆様におかれましては、地域生活支援拠点等に関わる上記対象者へ
の本研修の周知につき、ご協力くださいますようお願いいたします。なお、
受講申込みの取りまとめは不要です。

5. 開催日程・会場・定員

以下のとおり、全3回（現地開催2回、オンライン開催1回）実施します。

【第1回】

日程：令和8年11月4日（水） 13：00～17：00

会場：JRセントラルタワーズ 38階 セミナールームP+W+C
（愛知県名古屋市中村区名駅1-1-4）

定員：30名

【第2回】

日程：令和8年11月24日（火） 13：00～17：00

会場：オンライン（Zoom ※受講決定者へURLを送付）

定員：450名

【第3回】

日程：令和8年12月2日（水） 13：00～17：00

会場：大手センタービル 2階 トレーニングルームD
（所在地：東京都千代田区大手町1-1-3）

定員：65名

6. 研修内容

以下のとおり、全3部構成で実施します。なお、一部の内容は事前学習（オンデマンド視聴等）として実施し、あわせて事前課題に取り組んでいただきます。詳細は別紙「カリキュラム」のとおり。

【第1部】

自治体との協働による地域生活支援拠点等コーディネーターの配置と役割

【第2部】

拠点コーディネーター業務の実践

【第3部】

地域生活支援拠点等の整備・充実と拠点コーディネーターの配置促進

※事前学習の方法（視聴方法・実施期間等）および事前課題の内容・提出方法・提出期限は、別途案内します。

7. 受講料

なし

※研修受講にかかる通信費や交通費等その他については受講者負担とします。

8. 受講申込み

下記URLまたは二次元コードより受講申し込みフォーム（Microsoft Forms）に進んでいただき、**令和8年9月30日（水）17時まで**にお申し込みください。

なお、受講申込みは各受講希望者が個別に行ってください。

また、定員の都合上、ご希望に沿えない場合もございますのでご承知おきください。

【受講申し込みフォーム（Microsoft Forms）】

①URL

<https://forms.cloud.microsoft/r/bibJK73M4V?origin=lprLink>

②二次元コード



※締切を過ぎてからのお申込みはお受けできませんのでご注意ください。

9. 受講者の決定

受講希望者が定員を上回った場合は、原則として先着順により受講者を決定します。ただし、申込状況等により、より多くの関係者に参加機会を確保するため、1所属あたり1名の受講とする場合があります。

※受講可否については、第1回については10月9日（金）まで、第2回・第3回については10月27日（火）までに事務局よりメールにてお知らせいたします。

10. 修了者名簿について

本研修はモデル研修であるため、修了証等の受講を証明する書面の交付はありません。また、受講申し込み時に入力頂いた情報を基に研修修了者名簿（修了者番号、氏名、所属等）を管理します。必要に応じて厚生労働省に研修修了者名簿の情報を提供することがありますのでご承知おきください。

11. 留意事項

- 全てのカリキュラムについて受講可能な者を受講対象とします。
- 研修会場において駐車場等の確保は行っておりませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
- 本研修の開講日に、自然災害（台風等）及び事故等が発生した場合は、開講しない場合があります。中止の場合は研修当日の午前10時までに事務局よりメールでお知らせします。

12. 問い合わせ先

「地域生活支援拠点等における機能の評価指標及び拠点コーディネーターの養成に係る調査研究」事務局（PwCコンサルティング合同会社）

メール：jp_r8_15_kyoten@pwc.com

○研修カリキュラム（一部変更の可能性有）

<事前学習（動画視聴（オンデマンド）・事前課題）>

部	部タイトル	実施形態	主な内容	時間
第1部	自治体との協働による地域生活支援拠点等コーディネーターの配置と役割	動画視聴 (オンデマンド)	1. 地域生活支援拠点等とは 2. 拠点コーディネーターがいてよかった！ 3. 地域生活支援拠点等の整備推進・機能強化と用語 4. 拠点機能強化事業所の整備と拠点コーディネーターの配置に向けて 5. 指定特定相談支援事業所における機能強化型（継続）サービス利用支援費Ⅰ・Ⅱ取得に向けた複数事業所による一体的管理運営の促進に向けて 6. 機能強化型（継続）サービス利用支援費Ⅰ・Ⅱ取得に向けた複数事業所による一体的管理運営を促進するための行政の役割 7. 拠点コーディネーターの役割 8. サービス未利用者の把握と市町村連携 9. 緊急事態の対応と特別な配慮が必要な人の事前把握／緊急事態への対応の工夫 10. 地域移行のための役割 11. 地域移行のための自治体の役割 12. 共同事業体（JV）方式による広域連携の工夫 13. 専門的人材の確保・養成等	110分
第2部	拠点コーディネーター業務の実践	動画視聴 (オンデマンド)	・コーディネーター配置から業務が軌道に乗るまでの段階モデル ・段階別に整えるべきこと（会議体・役割・フロー・情報共有・協定等） ・グループワーク実施に向けたワークシート記入方法	15分
		事前課題	ワークシート①（段階ロードマップ）の記入 ・自地域の類型・体制／現在の段階 ・今年度から来年度にかけての整備事項／ボトルネック 等	—
第3部	地域生活支援拠点等の整備・充実と拠点コーディネーターの配置促進	動画視聴 (オンデマンド)	・新しい評価指標の位置づけ／記入ルール ・グループワーク実施に向けたワークシート記入方法	20分
			ワークシート②（新しい評価指標）の記入 ・新しい評価指標を用いた自己評価 等	—
合計時間（事前課題を除く）				145分

<集合研修（当日：座談会・グループワーク等）>

部	部タイトル	実施形態	主な内容	時間
全体	—	オリエンテーション	本研修の目的・流れ、本日の成果物の確認	5分
第2部	拠点コーディネーター業務の実践	座談会	主に以下の内容・テーマに関する事例共有を行う ・事業実施前のプロセス・物語 ・自分の地域独自の取り組み ・緊急時対応ができる事業所の人材育成 ・拠点コーディネーターと共働すると加算が付く仕組みをうまく活用する ・地域をチームにする仕掛け ・入所施設職員に、地域生活のリスクを許容し安心してもらう	65分
		グループワーク	以下3点について、班ごとに意見交換等を行う 1. 第1部（講義部分）の振り返り 2. 座談会を聞いての感想を分かち合う 3. 段階モデルにもとづく意見交換（ワークシート①活用）	70分
		まとめ	グループワークの成果の共有、講師からの振り返り	20分
第3部	地域生活支援拠点等の整備・充実と拠点コーディネーターの配置促進	導入	・新しい評価指標の再確認 ・グループワークの目標の共有	10分
		グループワーク	新評価指標ブレ評価結果を踏まえた意見交換（ワークシート②を使用）	30分
		まとめ	グループワークの成果の共有、講師からの振り返り	10分
全体	—	研修全体のまとめ（総括）	・本研修における重要な事項の振り返り ・各自が持ち帰るアクションの確認 ・アンケート回答案内	10分
合計時間（休憩を除く）				220分